

# 2024(令和6)年度 柘植小学校マニフェスト

校長 松本 徹

## 【学校教育目標】

誰一人取り残さない教育を推進し、確かな学力を身につけた子どもを育成する

## 【めざす子ども像】

### ◎自分の考えをもち、これからの社会をたくましく生き抜こうとする子ども

- 教科の学力を高め、情報を正しく活用し、確かな判断力をもとに問題を解決していこうとする子ども
- 自分の人権を守り、他者の人権を守るための実践行動ができる子ども
- 多様な人生モデルとの出会いを通して、自分の将来を思い描こうとする子ども

取組の重点	具体的な取組	数値目標 (A+Bの肯定的回答) ◇児童アンケート ◆保護者アンケート
なかまづくり・学級集団づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○日々の学級活動や一枚文集を読み合うことにより、子どもたち一人ひとりがお互いのことを知り合っていく活動を継続します。</li> <li>○文化的・生産的な活動を通して、自主的・自治的な力を育みます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇「学校での様々な活動を通して、友だちの考えていることや生活の様子がわかってきた」85%以上</li> <li>◇「学級活動や委員会活動、縦割り班活動などで、みんなが気持ちよく過ごせるようにしている」90%以上</li> </ul>
<学 力> 子どもが主体的に取り組む授業の創造、基礎学力の向上、家庭学習の定着	<ul style="list-style-type: none"> <li>○授業力向上(授業づくり)の取組を通して「子どもが主体的に取り組む授業」に努めるとともに、子どもたちの基礎学力の向上を図ります。</li> <li>○家庭学習の内容を工夫し、保護者と協働して家庭での学習習慣を定着させます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇「授業の中で進んで考え、友だちとともに学ぼうとしている」80%以上</li> <li>◆「学校は、基礎学力の定着を大事にしている」90%以上</li> <li>◇「学年に応じた勉強時間と読書時間を守って、家庭学習に取り組んでいる」90%以上</li> </ul>
<人 権> 自他の人権の尊重、自己肯定感の獲得、差別や偏見を見抜く力の育成	<ul style="list-style-type: none"> <li>○すべての子どもが自分のよさや可能性に気づき、自分の人権も周りの人の人権も大切にできるようにします。</li> <li>○差別や偏見など、「おかしい」と思うことがあれば、それをなくしていこうと行動できる子どもを育てます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇「自分にはよいところがある」80%以上</li> <li>◇「困っている友だちのそばで考え、解決するように行動している」90%以上</li> <li>◆「学校は、人権を大切にした教育活動に取り組んでいる」90%以上</li> </ul>
<キャリア> 自分の将来を思い描く力の獲得	<ul style="list-style-type: none"> <li>○子どもたちが「将来なりたい自分」を思い描けるよう、出会い学習や体験活動を通して、仕事や生き方について学ぶ学習を進めます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◇「自分の将来の夢や目標をもっている」85%以上</li> <li>◇「自分から進んであいさつをすることができる」90%以上</li> </ul>
保護者・地域とともに創る学校	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教育活動をわかりやすく伝え、保護者や地域の方とともに学校づくりについて考える機会を大切にします。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>◆「学校は通信やホームページなどにより、情報発信に努めている」85%以上</li> <li>◆「学校は保護者の意見を取り入れて、学校改善に努めている」85%以上</li> </ul>
職場環境づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>○教職員が心身のゆとりをもって子どもと向き合えるよう、働きやすい環境を整えます。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○会議時間の短縮(60分以内)</li> <li>○安全衛生委員会の学期1回開催</li> <li>○定時退校日の設定(毎週水曜日)</li> </ul>

「学校へ行くのが楽しい」と回答する子ども90%以上をめざします。